

伊集院保健所感染症情報

2024年第51週（令和6年12月16日～令和6年12月22日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内警報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第48週	第49週	第50週	第51週	先週からの増減	第50週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	3.20	10.60	31.60	63.60	↗	29.00	↗
COVID-19	-	-	-	0.80	1.00	0.60	0.80	↗	1.51	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	2.33	0.67	2.00	1.67	↘	0.75	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	3.00	2.67	5.00	2.33	↘	2.18	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	3.00	4.33	4.00	4.00	→	5.14	↗
水痘	2	1	1	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.22	↘
手足口病	5	2	-	7.33	3.33	3.67	1.67	↘	3.59	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.24	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
R S ウイルス感染症	-	-	-	0.67	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC 年末年始に海外へ渡航される皆様へ

海外で感染症にかからないようにするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身につけましょう。

※ 海外での感染予防のポイント

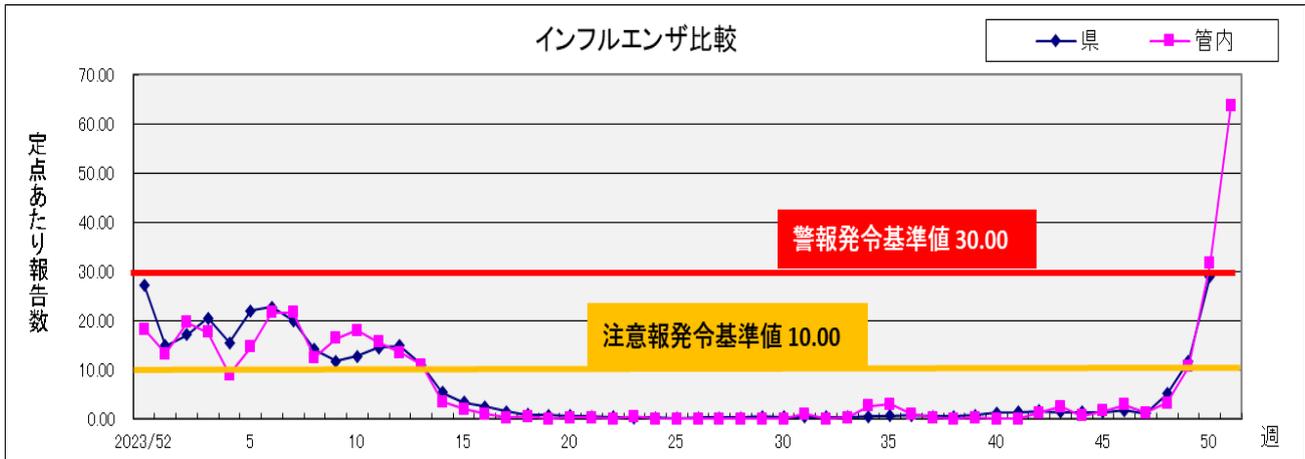
- 渡航地や渡航先での行動によって異なりますが、感染の可能性が最も高いのは、食べ物や水を介した消化器系の感染症です。
- 日本で発生していない、動物や蚊・マダニ等が媒介する病気が海外では流行している事があり、注意が必要です。
- 人から人に広がる感染力の強い麻しん（はしか）、風しん及びポリオが流行・発生している地域があるため注意してください。
- 麻しん（はしか）、中東呼吸器症候群（MERS）、エムポックス及び新型コロナウイルス感染症については、ページ下部の「参考：麻しん（はしか）・中東呼吸器症候群（MERS）・エムポックス・新型コロナウイルス感染症について」をご参照ください。

詳細はこちら→



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（管内に警報を発令中）



今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の158人（定点あたり31.60）から160人増加し、318人（定点あたり63.60）となりました。

年齢別の報告では、10～14歳（48人）、7歳（29人）、9歳（25人）、6歳（24人）、8歳（24人）、4歳（23人）、5歳（21人）、40～49歳（20人）、15～19歳（19人）、2歳（14人）、50～59歳（13人）、1歳（12人）、3歳（10人）、30～39歳（9人）、20～29歳（7人）、6ヶ月～11ヶ月（6人）、60～69歳（5人）、5ヶ月以下・70～79歳・80歳以上（各3人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。これにより、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

※ 感染症予防のポイント

- 日頃から十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取しましょう。
- 帰宅後、食事前、トイレの後は、泡立てた石けんと流水で手を洗いましょう。
- 換気をしましょう。
- マスクを着用しましょう。
（医療機関や高齢者施設などへ訪問するとき、咳やくしゃみができるとき等）
- 予防接種を検討しましょう。
予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基本疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。
- 患者との密接な接触を避けましょう。（タオル等は別々に使いましょう）
- 集団生活では感染が拡大しやすいため、体調不良者は出勤・登園等を控えましょう。
- 吐き気、強い頭痛、咽頭痛、激しい咳などがあれば、早めに医療機関に相談しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 12/16～12/22（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止については、インフルエンザ患者が116人（内訳：非型別インフルエンザが100人、A型インフルエンザが16人）、溶連菌感染症が6人、マイコプラズマ感染症が2人、手足口病が1人、COVID-19が3人報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	新型コロナウイルス感染症
日置市		91	6	6	2	1	1
いちき串木野市		9	10	0	0	0	2
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		100	16	6	2	1	3